

第3回 三木市多文化共生推進プラン策定検証委員会議事録 概要

- 1 開催日時 令和5年9月22日（金） 14:00～15:40
- 2 開催場所 三木市役所4階 特別会議室
- 3 出席委員 13人（欠席委員:2人）
- 4 事務局 市民生活部長、市民協働課長、市民協働課多文化共生係
- 5 協議事項 (1) 三木市多文化共生推進プラン 素案について
(2) 今後のスケジュールについて
- 6 議事録
 - 市民生活部長、市民協働課長の自己紹介
 - 委員長挨拶
 - 傍聴、会議録の公開について
 - 会議資料の確認

(1) 三木市多文化共生推進プラン 素案について

【質疑】

委員長	<p>ご説明ありがとうございました。三木市が外国人を受け入れて、そんなに長くはないのですが、5年間のプランということで、どこまで書こうかということを経済局と相談させていただきました。</p> <p>受入れるだけじゃなくって、私たち日本人住民にも、国際感覚だとかグローバル化に関係する能力を高めていける何かメリットを考えるようなウィンウィンの関係をうまく盛り込むことができたと思っています。</p> <p>事務局が不安に思っているところも含めご意見をいただきたいと思います。</p> <p>私は成果指標が気になるので、少しだけお伝えしてもいいですか。プランの成果指標をもう少し高くてもいいのではと思いました。議論されたことありませんか。例えば、三木市に住んで「とてもよかった」と感じている外国人の住民の増加なんですけど、19ページでは、「とても感じている」が34%で、「大体感じている」が55%、合わせたら結構な数で89%が三木市に住んでよかったと感じていると思ったので、この書き方だと、よかったって感じている人が多いのに、34%って書かれているのがちょっと不十分で不満なんです。</p> <p>「とてもよかった」「大体よかった」と感じているを合わせると89%いくので、結構満足しているんじゃないかなと思って。それでも目標が30%ではと寂しいと思いました。それを50%にてはどうですか。</p>
事務局	<p>私も今日説明聞いて感じました。今まで内部であまり話ができなかった</p>

	<p>のですが、2つあわせて 89%あるので5年後には 100%にしたいと考える方が目標としては綺麗と思います。</p>
委員	<p>対象者が 246 人ということで来庁者や日本語教室、市内企業に依頼ということで少し偏りがあります。というのは、日本語が全くできない人にはアンケートが取れないという状況もあります。「大体」の方が強いんじゃないでしょうか。</p>
委員長	<p>アクセスがある人にアンケートもとっているということですね。 この 34%の書き方がちょっと寂しくて、55%が抜けてしまっているのがもったいない気がします。もう少しポジティブに「とても」と「大体」を一緒にして、書き方として目標は数値も上げていいと思いました。</p>
事務局	<p>「大体」も含めると 89%の方が、三木市に住んでよかったとお答えいただいているというところで、もうほぼ満足だなあという回答になるんです。それを今度目標として挙げる場合ですが、何%ぐらいが・・・統計的にもうこれ以上上がらないぐらいのレベルなので、「大体」が今度 34%になって、「とても感じる」人が 50%ってなるとまた見方も変わってくると思います。もう2つあわせて 90%なので、多分次回に統計をとっても変わらないと思われます。</p>
委員長	<p>今のこのプランの成果指標を見ると、「とてもよかった」が 34%で、しかし後の 66%が駄目だ、満足してないと思われます。</p>
事務局	<p>ここ 25 ページだけを見た場合ということですね。</p>
委員長	<p>そうです。「大体感じている」も入れて 50%はどうですか。</p>
委員	<p>他市では、何年住んでいるかで、違いを見ているところがあると思うんですが、三木市どうですか。外国人の人と話していて、三木のことどう？って聞くと、あまり長く住んでない人は「大体」みたいなことを言うと思って、どれだけの期間に三木に住んでいるかで影響があるような気がします。</p>
事務局	<p>アンケートでは居住期間別にしています。ここでは全体の集計です。</p>
委員長	<p>「とても」と「大体」も入れたらいかがですか。カテゴリが別なので。値を「住んでとてもよかった」と「大体よかった」の2つに分けて書いたらどうですか。</p>
事務局	<p>19 ページのアンケートなのですが、「住んでよかったと感じました」で、「とても」と「大体」と、「どちらでもない」「あまり感じない」「全く感じない」の</p>

	<p>中から一つを選んでもらう形です。「とても感じている」と、「大体」の両方に○をつけることはできないので 34%を 50%にした場合、「大体」と感じている人は最低でも 50%にしかならないんです。他のどちらでもない、あまり感じないはもう 0%。そうしないと百分率なので 100%を超えてしまうのです。</p>
事務局	<p>2 段にして、目標値を 100%にしたらいいですね。</p>
委員	<p>市が外国人のために行っているサービスの認知度も低いのではないですか。認知度はその啓発をすればいいので、もっと認知度を上げる必要があります。</p> <p>外国人も、働いているとか学校とかどこかに所属しているので、企業や学校で啓発してもらいたい。先ほどの労働条件も、まず大きい企業は産業医がいて労働衛生委員会を必ずやっているの、労働衛生委員会で言えば必ず各部署に通達が行くわけですから、もっと認知度が上がるはずですよ。</p>
事務局	<p>知らない人が外国人の半数いるので、そこから 2 割減らそうと思って計算したら 40%ぐらいになりました。その 2 割が少なくそういうことですね。</p>
委員	<p>労働衛生委員会で、やはり外部から来た人達をどうやってサポートするかっていう話が出たことがあります。そういうところで話題にってもらうことは大事ですよ。</p>
委員長	<p>他の目標の伸び率からも考えて、51%から 40%は低いですね。知っていただく手段を整えて、情報として伝達するだけでもかなり認知度に繋がると思います。</p>
委員	<p>目次のところで、第 4、施策の展開の「1、コミュニケーションの向上」とあるのですが、コミュニケーションっていうのは、能力とかスキルとかが向上するだけで、コミュニケーション自体の向上というのは捉えにくくて、「コミュニケーションの活性化」とするとわかりやすいと思います。</p> <p>2 ページの 3 番、意識啓発・社会参画支援の「1、多文化共生の意識づくりも」、「意識づけ」という方がよく使う言葉のような気がします。</p>
委員長	<p>まず 1 点目ですがそうですね。活性化はとていいと思います。これはいかがでしょうか</p>
事務局	<p>これは前回の委員会の際に議論をした内容で、その当時は「支援」を「向上」にしようということだったので話が進みました。活性化でよければ活性化に変えますが、内容についてはそう変えることはないと思います。</p> <p>もともとは「支援」だったのを、支援では外国人はしてもらってばかりなの</p>

	<p>で、外国人住民も一緒にということで向上にすることとなりました。「活性化」に変更しますか。</p>
委員長	<p>修正にご異論なければ、そうさせていただきます。2点目は、私は気づきませんでしたでしたが、「多文化共生の意識づくり」とはあんまり言わないということですね。市民に意識を作ってもらおうということで、意識づくりでも違和感はありませんが。</p>
事務局	<p>これも当初、「意識啓発と醸成」としていたのを、言葉自体が難しいということで言い換えて、意識づくりとなりました。</p>
委員長	<p>「意識づけ」というと強制的な感じはしませんか？皆さんどうですか。</p>
委員	<p>確かに上から「意識しろ」みたいな感じがします、お互いに啓発的でいいと思います。</p>
委員長	<p>そうですね。「づけ」というとちょっと強制的までいかないにしても、何か「意識しろよ」っていうような感じがします。「づくり」だともう少しみんなでやろうと意味でやわらかくなりますか。</p>
委員	<p>本来、私たちが共生の社会をつくろうという、それは支援するのが行政であっても、作る主体は住民なんです。私たちが協働して作るという話です。</p>
委員長	<p>わかりました。重要なことに気づかせていただいて、ありがとうございます。ここはこのままでいきます。どこの部分でもいいです。お気づきの点をぜひご指摘お願いできませんでしょうか。</p> <p>皆さんが考えている間に事務局に、28 ページを見ていますが、外国人の住民の生活相談体制の充実のICTとかAIとかに、ICTが情報通信技術とか、AIに人工知能とか注釈を入れませんか。</p>
事務局	<p>用語解説を後ろに入れていきます</p>
委員	<p>初めて出てくるところに米印で、欄外に後ろ参照とかを書くと後ろをみれますよね。</p>
事務局	<p>出てくるところで最初のところだけに米印つけさせてもよろしいですか。</p>
委員長	<p>私は、用語解説まで書かなくても、AIだったら人工知能と言ったらわかると思うので、本文に入れてしまいませんか。皆さんどうですか。これ用語解説通り</p>

	<p>なので、アルファベットを英語にするだけの話でいいのではないですか。特定技能とかSDGs とかは文章で説明しといた方がいいですよ。</p>
事務局	<p>ICTの後ろに（情報通信技術）、AI（人工知能）と入れる。それは出てくるところに全部ですか。</p>
委員長	<p>最初に1回入れたらいいんじゃないですか。少しご議論いただいてもいいですか。他の方に。どうですか。</p>
委員	<p>本来だったら、出たところでICTならICTに①と打って後ろの巻末を見れば1番とわかるので、全部に必要なはないでしょう。わからない人は、文書に入れると長くなるので、むしろ巻末に載せればすぐわかる。その方が読みやすいし、最初に出たときに、巻末に用語集がありますのでと書いておけばいい。</p> <p>例えば論文の書き方のように用語解説を最初のページに入れてもいい、そうすれば皆さんそこから見ます。巻末が一番わかりにくいので、巻頭につけておけば文書中に書かなくても。例えば学齢簿なんかは普通はわかりにくいので詳しく書いておいた方が良くと思います。</p>
事務局	<p>委員が言われたように、NPOとかICTとかは括弧書きで入れて、用語解説から抜き、用語解説を前にもってきませんか。</p>
委員	<p>用語解説だからこそ、詳しくわかるから1ページで。言葉の解説はそのまま載せて。言葉の解説の時は言葉の意味合いをきちんと書いて、省略しない方がいいのではないかと。例えばこの用語解説を載せたところ、最初に本文中に出てくるような省略の言葉はここに書いてありますので、ご参考にしてくださいと書いておけばよい。</p>
事務局	<p>プランを読む人は、最初からみるとは限らないので、委員長が仰られたように簡単に説明できるところは、本文に入れる方向で、用語解説はそのまま前にもって来るなど、見せ方を検討します。</p>
委員	<p>教えていただいてもいいでしょうか。35ページの「④取り組み内」容のところ「コミュニケーションボード」とありますが、これは今存在しているのですか。</p>
事務局	<p>避難所等では使われています。</p>
委員	<p>37ページの「子ども・子育て福祉サービスの提供」の取組内容のところの「やさしい日本語」や多言語化による情報提供というところですけど、ここにもコミ</p>

	<p>コミュニケーションボードがあったら助かると思います。</p>
事務局	<p>今は避難所に特化したものや、子育てなどで健康増進課では、外国人住民に対してそういうコミュニケーションボードを使ったりしています。</p> <p>それを作っていくというのも一つの方法かもしれません。</p>
委員長	<p>他にいかがでしょうか。事務局からここはぜひ意見をいただきたいというところを少し絞って聞いていただいてもいいですか。</p>
事務局	<p>「働きやすい環境づくり」について、何かご意見があれば。</p>
委員	<p>働きやすい環境づくりは、やっぱり企業でしょう。労働安全衛生委員会で産業医に啓発してもらえます。</p>
事務局	<p>どの企業に産業医がいるのか、私たちにはわかりません。医師会の方で紹介いただけるのでしょうか。</p>
委員	<p>産業医は医師会でわかります。医師会を通じて、産業医宛てに外国人従業員の職場環境について、このような啓発をしてほしいと依頼文を出すことはできません。企業に衛生委員会で取り上げて欲しいと言えばよい。</p>
事務局	<p>三木商工会議所、吉川商工会には、通知文などを会報誌に封入してもらうなど協力はいただいています。</p> <p>国の施策としては、主に就業支援とか環境整備とか起業支援などとなっていますが、三木市で起業支援がすぐにできるかっていうのもわかりません。</p> <p>三木市の会社が働きやすい、三木市へ働きに来てくれるような、三木市よりも他市の方が良いと言われぬように、市内の企業にも頑張ってもらって、選んでいただけるようなそんな労働環境ができればいいなと思っています。</p>
委員	<p>三木市に住みやすい土台を整備すれば大学生も三木市に引っ越してくるだろうし、家から通いやすくなります。私の所属する企業は、遠方からの従業員が多いので、交通が便利になればいいと思います。会社では、自動車の免許を持っていないと会社に来てもらうための交通手段が限られてしまいます。</p> <p>例えば3交代になると朝早い勤務や夜勤だったら電車がないので、勤務できないなどの問題があり、会社としては、バスを用立てていますが、バスにも定員があるので、終電に間に合うように少し早く帰らせる努力もしています。</p>
委員	<p>労働の環境づくりってところで、何に結びつけたらいいのかあまりはつきりしません。実際には、当社でも外国人が増えてきている中、やっぱり一人一</p>

	<p>人に目が届かない状態で、代表の外国人 1 人、当社の事務方の代表とのメールのやりとりやその都度困ったこと、例えば、最近だったら寮の畳がボロボロだったから直して欲しいと。そういったことを、相談してもらえるようにはしています。それが労働環境に繋がるのか。繋がればいいなあとは思っています。</p>
事務局	<p>バスの送迎などしているような企業はよい方と思います。雨の中をカッパを着て自転車で走っている姿を見ると、やっぱり大変だろうなああって思います。</p>
	<p>労働環境の改善、働きやすいついていうことになると、できることとできないことはあるのかもしれませんが、やはりそこは企業努力で進めていただかないといけない。相談窓口など社内で外国人従業員の声を聞くだけでも、外国人従業員との信頼関係は違うと思います。「日本語教室」に行きたくても行けない人の支援なり配慮も含めて。</p>
	<p>住むところとか、公共交通機関になると、企業努力だけでは解決できないところもあります。労働安全衛生面から、従業員の健康へ配慮も必要だと思います。</p>
委員	<p>産業医がいないところは直接、産業を推進するセンター、この地域では加古川地域の産業保健センターなどの相談窓口で相談することができます。</p>
委員長	<p>「環境づくり」だけになってるので、「環境づくり及びネットワーク形成」にしましょうか。よろしいですか。</p>
委員	<p>36 ページの資料。保健サービス提供のところの取組方向①。取組の方向性の②なんですけれども。医療機関において、問診票をはじめとする文書等の多言語化を推進しますとなっていますが、実際は厚生労働省がかなりの数の問診票を出しているんです。それを各医療機関が、ご存知ないということと、使っていない事実があります。これをあえて多言語化にする必要はないと思っています。</p> <p>ただ、問診票はすでにあるものを使うということと、もう 1 点ですが、私の妄想だと思ってください。今の外国人の外国語そして日本人の私たち、それをつなぐのが「やさしい日本語」ということになっています。外国人を寄せてくる。日本人も「やさしい日本語」で近づく。この距離は縮むとは思いますが、日本人が日本語を第一言語として第二言語の英語は学習をしています。さらにその第三言語というのを日本人が、ある意味ちょっと意識をすることも大事なかと。</p> <p>第二言語の英語もまだままならない私たちが、例えば他のベトナム語を第三言語としてある程度習得すれば、私たちがその外国人の方に寄っていけるっていう考え方もありかなと思ってもいます。</p>
委員長	<p>そうですね。それだけで、意識は全然ちがいますね。</p>
委員	<p>ここでも、日本語と多言語ありきの話になっています。私たちが一步踏み出せ</p>

事務局	<p>ば違う展開もあるのでは。市民がもう1ヶ国語、自分で意識したら「やさしい日本語」プラスアルファの何かを持つことが私たちの強みになると思うのです。</p> <p>問診票をはじめとする文書等の多言語化を推進しますの文章等は、問診票だけではなくて、お知らせもそうだと思うのですが、問診票のこの一行はもう削除しますか？</p>
委員	<p>委員が言われるのは、問診票が要らないということですか？</p>
委員	<p>要らないではなくて、それを使うという意識がない医療機関が多いということです。医療アンケートを取ったときに感じたことです。その認知がとにかくできていないということを痛感しましたので、わざわざ作らなくてもあるもので対応できます。問診票だけではなく入院の同意書からすべて、厚生労働省がホームページに出してると思います。ただそれをカスタマイズするかどうかということです。</p>
事務局	<p>問診票をはじめとする文書等の多言語化というより、多言語化した問診票等の活用を周知するはどうですか。</p>
委員長	<p>周知してもらっただけで全然違います。私もよく知らなかったのですがデータ情報は全部共通なんですね。希少言語もあるでしょうね。</p>
委員	<p>問診票の内容がそれほど大きく違うとは思いませんが、その病院に合うかどうかは分かりません。希少言語も期間限定で載っていることもあります。</p> <p>いきなり日本語の問診票をもらって、困る外国人をよく見えていますのでね。「やさしい日本語」があるかどうかわかりませんが、「やさしい日本語」はあってもいいとは思いますが。</p>
委員	<p>同じパターンで書いています。確かに同じスコアを出すときには、同じ質問項目になっているようです。</p>
委員長	<p>すぐダウンロードできる感じだったら、それを活用できたらいいですね。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>コミュニケーションをとるのが難しいので、ポケトークを公民館に1台、各自治会の会長に1台買ってほしいです。20か国対応できて年間2万円ぐらいで2年間使えて安くて便利だと思う。一応そういうものの導入も考えればいいのではないですか。</p>
事務局	<p>ポケトークについては市役所内では、相談業務で使っています。すでに事務用</p>

	<p>で設置している公民館もあります。区長さんが1台持っていても必要な人が必要な時に使えるとは限らないと思います。また自治会などでは、市から配布するまでもなく、皆さんスマートフォンの翻訳機能を使っておられる方もいますので、そのようにしていただくようお願いしたいと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他にございましたら遠慮なく、お願いします。</p>
委員	<p>35ページの取組内容の「所在把握」で、「支援者の所在情報の把握」みたいな感じで、外国人の所在地の把握に努めますってことですよね。それでこの要支援者のように災害があった場合は通知が行くようにするってことですか。</p>
事務局	<p>外国人は多分防災計画では要支援者と同じようなレベルになってると思います。ただ、外国人は、自治会に加入されていない場合は把握できていないのが現実です。だから、やはり把握できるよう努める必要があります。</p>
委員	<p>一応要支援者として外国人が入ると、地域の民生常任委員とかが非常時に迎えに来るような形になるってことですか。</p> <p>非常時が一番心配だと思っていたので、そういうことによりやく繋がるから、この要支援者という書き方がいいなと思いました。</p> <p>僕が例えば外国に行って、非常時にみんな逃げているの見て、「今日はまつりかな」って思うかもしれないなと思って、なんか要支援者のように外国人を取り扱って、災害時も助けられる仕組みがあればいいなと思います。</p>
事務局	<p>外国人も、努力をしてもらわないといけないと思います。自治会に入ったり、隣人と顔の見える付き合いをしないと、「逃げます」って教えてもらえなかったら、逃げ遅れて命に関わることもあります。</p>
事務局	<p>要支援者の方は、例えば歩けない方がいらっしゃっても、自分で手を挙げて要支援者だっということ、自ら言わないとリストに載らないんです。</p>
委員	<p>外国人が要支援者になりたいと言わないと駄目なのですか？</p>
事務局	<p>日本人外国人関係なく、「私は要支援者である」ということを言わないと対象にはならない。更にこれを民生委員や区長に知らせてよいという意思表示が必要になってくるんです。先程も事務局が言ったように、自治会に入るとか横の繋がりがあるとかっていうことももちろん必要になってきますので、その要支援者制度を外国人に理解してもらう必要もあると感じています。</p>
委員	<p>要支援者になれば守られますみたいな感じで、こちらから手を差し伸べてい</p>

	<p>る感じがするのでいいと思います。</p>
委員	<p>今の要支援者の申請ですけれども、確か危機管理課に民生委員から上がってくる体制ですよね。ということは外国人の人たちは自治会に加入していなければ、民生委員にそれを案内してもらえないと思うんです。何か手だてはないですか？</p>
事務局	<p>本当に自治会に協力いただきたいと。</p>
委員	<p>所在の把握に努めますっていうことは、おそらく自治会などが手を差し伸べていこうということだと思います。</p>
委員	<p>自治会の人には外国人を要支援者だと思っていないと感じます。</p>
委員	<p>だけど要支援者と認められたら、行かざるを得ないでしょう。</p>
委員	<p>おそらく外国人のポジションが、単なる「隣人が入ってきた、自治会に誘いましょう」程度ではあると思いますし、その自治会に加入するまでの長い道を進まれる自治会もあれば、断念される自治会もあるので、それが認知されることは難しいことだと思います。</p> <p>外国人の方に要支援者という言葉の意味を理解してもらうためには、かなり努力が必要です。地域住民の方にもその意識を持ってもらうのも重要なこと。</p> <p>本当に有事のときは、若い20歳代の元気な人で多少日本語わかれば、おじいちゃんおばあちゃんを背負って逃げるという役割も担えますので、日頃の接点づくりが大事かなとは思っています。</p>
事務局	<p>私たち行政が把握している外国人や外国人コミュニティは多くないので、国際交流協会等で繋がって、そのことを伝えていただきたいと思っています。</p>
副委員長	<p>今の話とも関連して34ページの取組内容の2つ目の○で、「外国人住民の参加しやすい防災訓練の実施」という表現が、目指すところとしてはそれでいいと思いますが、実際問題、外国人住民が地域の防災訓練に、本当に参加できているかどうか。もちろん参加されているところもあると思いますが、回覧版で防災訓練しますよ、地域の防災訓練ですよと回覧しても外国人は出てこないです。</p> <p>やはり命に関わることであるので、これでは取組としては弱いように思います。私たちの地区でうまくいった例は、会社の担当者と連携して、こちらから声掛けの案内をすると、非常にうまくいったときがあるのです。</p> <p>非常に重要な交流の場にもなりましたし、「外国人住民も参加しやすい」じゃなくって、「外国人住民も含めた防災訓練」。当然、住民ですので参加しないと</p>

	<p>かしいわけで、もちろん障害のある方も同じことが言えるのですが、社会の構成員でありますので、「参加しやすい」っていうのはちょっと弱いかなという。</p> <p>推し進めていくには、インクルージョンって言いますが包摂した形の社会になっていく、それが大きな目標だと思います。</p>
委員長	<p>おっしゃるとおりそうですね。当たり前なのが、外国人が特別みたいな感じになってるんですね。</p>
副委員長	<p>当たり前という意識で、でもそれは非常にハードルが高いので、会社との連携とか関係機関との連携を緻密にやっけていかないとなかなか上手くいかないです。それが現状だと思います。</p>
委員長	<p>日本人と同じサービスを受けるっていうことは、当然と考えることでいいと思います。</p>
委員	<p>38 ページの「住宅確保のための支援」で、私が知っている外国人は志染公団とか、ローレルハイツ北神戸に住んでいます。住宅を確保するときに会社が動いている場合はいいのですが、個人が住宅を借りようする場合に保証人の問題で借りることができないと聞きました。個人的に不動産屋に行くのと借りることができない可能性が高いから、今後どうするのか。昨日テレビでNPO法人が保証人になるというようなことを言っていましたし、私の知っているNPO法人も保証人になる取組をしています。そういう確保のための支援を明確化してもいいのかなという気がしました。</p>
委員長	<p>外国人は、助けを借りないと賃貸住宅も借りることができないと、今のところ「円滑化を推進するために」と書いてるんですけども、もう少し具体的にどうでしょう。</p>
事務局	<p>市では市営住宅や県営住宅などの公営住宅については相談業務もよく上がってきます。県も市も公営住宅の説明等には、「やさしい日本語」が十分に普及していません。市の建築住宅課が説明していますので、相談業務等で必要な支援をしている状況です。民間の借り上げ住宅について、保証人が必要であれば、どこが保証するのか、国際交流協会やNPOなのか、それを市の事業としてできるのか。情報提供はできるかもしれないませんが、その窓口を作るのはなかなか難しいかとは思っています。</p>
委員	<p>民間の不動産業者の意識ということなんです。外国人はお断りっていう所がかなりあるんです。意識を変えていくってことも大事かと思っています。仲介業者の情報で、国際交流協会の場合は民間の不動産会社の方が会員になっています。そ</p>

	<p>ういう理解者を増やすことが大事なことだと思っています。</p>
委員長	<p>もう少しまた検討しますか。</p>
事務局	<p>民間に関しては、「円滑化を推進する」ぐらいのことかと思います。なかなか具体的にはこの段階で、民間の方、NPOとか国際交流協会とかが協力をして、またボランティアとして協力いただけるということがあればいいんですが、今の段階では難しいと思います。</p>
委員	<p>住宅の空き家バンクが結構あると思います。そういう情報も情報提供の中に含まれると思います。</p>

(2) 今後のスケジュールについて、

【質疑】

事務局	<p>スケジュールを説明します。策定検証委員会の1回目を9月に実施しました。今後、12月からパブリックコメントを実施したいと思いますので、素案をもう1度修正して、皆様にご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>次回の修正案を見ていただく委員会を、10月27か11月1日のどちらかにお願いしたいと思います。皆様のご都合が悪い日があれば教えてください。10月27日もしくは11月1日の2日でいかがですか。希望としましては11月1日の水曜日をお願いしたいと思います。</p>
副委員長	<p>私は10月27日が駄目なんです。できたら11月の方をお願いしたい</p>
事務局	<p>では11月1日も時間は、午後のこの時間帯と考えていますが、もう少し早い方がいいでしょうか遅い方がいいでしょうか。</p>
委員長	<p>お任せしましょう。</p>
事務局	<p>スケジュールに戻りますが、2回目の策定検討委員会を11月1日に開きまして、そのあと議会の委員会に、この案を報告する予定です。それからパブリックコメントの準備を進めまして、12月にパブリックコメントを実施し、市民の皆さまの意見を反映しながら2月頃には策定結果を策定検証委員会にご報告させていただきたいと思っています。スケジュールとしては、そのように進めさせていただきます。11月1日の資料は、少し早めに皆様方に郵送させていただきます。</p>

委員長	<p>ありがとうございます。何かご質問とか大丈夫ですか。 なければ、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。策定委員会が11月1日水曜日の午後2時からということで予定をしております。 また資料とともに案内の文章を送付させていただきますので、お願いいたします。 最後に閉会の挨拶を植田副委員長、お願いいたします。</p>

7 閉会

次回の策定協議会の開催日は2023年11月1日を予定

○副委員長挨拶